


平成30年 2月 5日

箕輪町議会議長 木村 英雄 様

箕輪町議会福祉文教常任委員長 釜屋 美春 

箕輪町議会（委員・議員）派遣結果報告書

箕輪町議会議員の派遣等実施要領第5条の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

研修名	福祉文教常任委員会行政視察
研修の期間	平成30年1月17日～19日
研修の場所	富山県入善町、南砺市、福井県越前町、岐阜県中津川市
成果 (具体的に)	<p>○富山県入善町 高齢者の移動手段として、今後期待されるデマンド交通について、導入の背景・システム・利用状況・運営経費及び財源等の現状と課題について伺い、当町でも導入の可能性を感じました。</p> <p>○南砺市 妊娠から出産、子育てまで一貫したワンストップ窓口【南砺型ネウボラ】推進事業の現状について、産後ケア事業、産後サポート事業の具体的な施策について伺うことが出来ました。当町でも子育て支援の充実について、さらにきめ細かな視点での見直しをする必要があると感じました。</p> <p>○福井県越前町 人口2万2千人、小・中学生1750人に対し、小学校9校、中学校4校を有している。少人数で目の届く教育の良さがある。ICT遠隔システムにより、アイデアを用いた授業を各学校に配信し、結果を共有することで授業力アップにつなげている。他スマホ対策・英語活動などお聞きすることが出来ました。</p> <p>○岐阜県中津川市【還暦マラソン椀の湖(はなのこ)】実行委員会 今年で23回を迎える【還暦マラソン椀の湖】の今日に至るまでの、経過、市民の関わりなど、実行委員会の熱意が伝わるお話をお聞きしました。スポーツのまち箕輪の今後に生かしたいと考えます。</p>
委員会名 派遣議員名	福祉文教常任委員会 釜屋美春 唐澤 敏 唐沢千洋 向山 章 大槻金吾 松本五郎 小出嶋文雄

【小出嶋文雄委員】

1 デマンド交通「ウチマエくん」について

富山県入善町

町内交通体系

(1)町営バスのらんマイカー

町内2路線 中心市街地と遠隔地域2か所を結ぶ

利用者：高齢者の買い物、病院通院、温泉利用、通学、公共機関利用者

運行状況：毎日運航、一回200円

年間利用者：約19,600人、委託料：年12,630千円

(2)デマンド交通「ウチマエくん」

町営バスで回れない場所を補完する。散居が多く家屋が点在していてバス停が遠いなどで要望が多かった。

運行範囲：町内全域

運航日時：月～土曜日、9：00～17：00、一日8便

運賃：500円(1回)(75歳以上高齢者、障がい者手帳・療育手帳所持者、免許返納者割引(300円))

運行主体：タクシー会社2社(空タクシー利用)予約受付から配車計画全てタクシー会社で行っている。前日までに予約

タクシー会社には、通常運賃とウチマエくん運賃との差額補助

年間利用者：10,852人 事業者への補助金：年間12,700千円

福祉タクシーの制度は別にある。

☆ 所 感

○巡回バスでは経路が限られてしまうのでデマンド交通は必要があると感じた。

○運行方法、予約から配車などのシステム化が必要と感じた。

○高齢者、運転免許証返納者対応に必要であり、運賃500円はドアツードアであるので高くはないと思う。

○年間20,000千円ほどの財政負担が必要となるので財源対策必要。

2 産後ケア事業について

富山県南砺市

南砺市型「ネウボラ」推進事業

- ・初妊婦電話相談、妊婦訪問、出産支援交通費助成、新生児・乳児家庭全戸訪問などの新しい事業
- ・すこやか親子相談事業
- ・産後ケア事業
- ・おっばい相談

安心して子供を産み育てられる環境づくり

平成27年度からの取組

- ・地域担当保健師による相談
- ・初妊婦全戸訪問、助産師による相談・訪問
- ・産後ケア事業
- ・イクメン応援事業など

☆ 所 感

- 対象者への周知、積極的に訪問するなどの繋がりづくりが大切と感じた。
- 子育て支援センターなどの活用を活発化させることが必要
- 母親の育児負担(心身ともに)の軽減の施策が必要
- 地域の関わり方(母子保健推進員)が課題
- 事業の利用者が少ない感じがした。

【松本五郎委員】

1月17, 18, 19日 福祉文教常任委員会 視察研修会レポート
【入善町デマンド交通・南砺市、産後ケア】

1、富山県入善町 デマンド交通ウチマエくんの視察をいたしました。

入善町は、富山県の東部、黒部川により形成された広い黒部川扇状地に位置しています。日本有数の清流黒部川とその地下水は、国の天然記念物「杉沢の沢スギ」を含む「黒部川扇状地湧水群」として環境省の全国名水百選に選ばれています。

入善町は昭和28年に7つの村と合併して昭和34年に1町と合併し、新生入善町が誕生し、それ以来平成の合併にも加わらず現在の入善町が存在しています。人口は25,111人箕輪町と同じ位の人口です。

今回の私たちの委員会の視察は入善町で実施している、デマンド交通「ウチマエくん」です。町内運行バスが全地域に運行していないことや、バス停が遠くて不便なことから声が寄せられ、誰もがバス路線等に関係なく等しく利用できる、予約式乗合タクシー（デマンド交通）を町内全域で導入し、住民の日常生活に必要な交通手段を確保しました。

空きタクシーを利用し、町内の2つのタクシー会社に予約センターも含め、委託しています。

運行エリアと目的地は町内を運行エリアとし、目的地となる39のバス停と自宅を結んで運行して目的地は市街地ゾーンでは公共施設、商業施設、金融機関、医療機関、温泉施設等です。

料金については1回あたり500円で障がい者、運転免許返納者、75歳以上の高齢者は300円です。就学前乳幼児、第1種身体障がい者及び療育手帳の交付を受けた方の介護人は無料になります。運行日については月曜日から土曜日で日曜日と年末年始は運行していません。

このように入善町の視察は非常に参考になりました。それぞれの町の地形が異なるし、町内巡回バスのシステムも違いますので、すべて入善町の方式のようにはならないと思いますが、箕輪町も入善町のデマンド交通を参考にして、交通弱者のために活用した

いと思います。

2、南砺市 南砺市型「ネウボラ」推進事業 産後ケア事業、産後サポート事業
視察研修2日目は南砺市です。富山県の南西部に位置しています。平成16年に8つの町村が合併して南砺市が誕生しています。人口は52,242人、世帯数17,758です。中でも日本の原風景が今でも残る五箇山、平成7年に白川郷（岐阜県）とともに世界文化遺産に登録され合掌造りの集落で有名です。

南砺市は35歳以上の妊産婦が上昇しており3割を占めている状況です。妊婦・出産から子育て期にかけて母親が直面する様々な不安や悩みを、ワンストップの相談窓口で継続的にきめ細かい支援を受けられる包括的な支援体制づくりが必要で、平成27年4月から「なんとすこやかな親子支援センター」を開設。時代を担う子どもたちの健やかな育成とその親と家族を支援するために、妊婦から出産・子育て期の切れ目のない包括支援を行っています。

南砺市型「ネウボラ」推進事業では目的として・安心して子どもを産み育てられる・生みたい人が適齢期に産める・虐待が予防できるとしています。

産後ケアの特徴については、「母子保健事業」では、おとなの風疹予防接種費用の助成です。摂取対象者は妊娠を希望している女性とその夫で上限額は5,000円です。

「出産支援交通費助成事業」では妊婦健診の交通費助成は妊娠6ヶ月以降の妊婦、金額は第1子、第2子の妊娠が1万円、第3子以降は2万円です。五箇山地域は5千円加算です。少し疑問に思い、五箇山地域は市街地からどの位かかるかを質問したところ1時間かかるそうです。市街地から離れている地域住民の大変さが感じられました。他には、「イクメン応援事業」「産後ケア事業」「産後サポート事業」などで「産後ケア事業」では、産後に家族や親族等から十分な支援を受けられない母と児に対し、在宅生活を円滑に進められるように助産師が家庭訪問して、母子の心身のケアや育児サポートを行っています。

箕輪町も人口減少で出生課題も掲げていますので、大事な課題事業だと思います。

【大槻金吾委員】

「還暦マラソンについて」

視察日 平成30年1月19日（金）視察先 岐阜県中津川市坂下1665-5
視察場所 中津川市還暦マラソン実行委員会
視察者 福祉文教常任委員会

1月19日午後2時より中津川市坂下総合体育館会議室にて、中津川市役所、定住促進部坂下総合事務所所長 鎌田氏と「全国還暦マラソン花の湖」実行委員長 吉村氏から、還暦マラソンの経緯等、詳細にわたり説明を頂いた。

「すべての市民が自らの健康は自らがつくる」を基本にスポーツ振興に積極的に取り組んでいる地域である

【所感】

- 22回の大会を重ね、地域に根を張った大会になっている。
- 参加選手の人数制限があり、ややネックになっているのでは。
- 地区住民全体の取組みとなっていることが大変評価できる。

- ★ 当町にての取組みは、慎重に考えるべきである。
- ★ 地方創生、人口減少、高齢化社会に対してはどうか
- ★ マラソン大会自体は当町も大いに取り組むべきと考える。

【唐澤 敏委員】

平成 29 年度 福祉文教常任委員会 視察研修レポート

○ 富山県入善町

デマンド交通「ウチマエくん」の取組み

- ・ 黒部川扇状地に広がる「散居式」といわれる特徴を持つ住宅の散在地域において、高齢者を中心にした生活者の利便性に力を入れている状況が参考になった。
- ・ 町内の公共交通体系について、町営バス「のらんマイカー」、デマンド交通「ウチマエくん」及びハイエスコミューター「入善新幹線ライナー」を組み合わせ、住民のニーズにきめ細かく対応しようとしていた。
- ・ デマンド交通「ウチマエくん」については、町内の2つのタクシー会社に運行を委託しており、空きタクシーの効率的な活用を図るなかで民業圧迫についても配慮されていた。
- ・ 「ウチマエくん」はタクシー車両を利用して、予約に応じて自宅と目的地の間を、複数の人が乗り合い運行しているが、自宅から目的地のバス停までと目的地のバス停から自宅まで送迎しており、かなり利便性が高いと感じた。
- ・ デマンド交通の利用にあたっては、事前の登録と前日までの予約が必要であり、予約センターで経験と手作業による運行計画が立てられており、コンピュータによる自動化されたシステムの構築が課題とされていた。
- ・ 運転免許返納者に対しても、町営バス運賃等割引カードの発行や公共交通利用券の交付(年3万円)を実施するなどして、手厚くサービスの向上を図っていた。

○ 福井県越前町

学力向上関連事業について

- ・ 近年、全国学力・学習状況調査の結果をはじめとした義務教育分野における福井県の評価が高いといわれている。その福井県で本町と人口規模が近い自治体の、学力向上対策を中心とした取組み状況を視察した。
- ・ 地域のなかに、小学校8校と中学校4校の小規模校が散在している状況下、2人の指導主事のきめ細かな学校訪問とともに遠隔システムなどの情報ネットワークを活用するなど、教員の指導力を向上させるために注力していた。
- ・ 「育ちを支える」「学びをつなぐ」をキーワードに、学校教育の質の向上に取り

組んでおり、カリキュラムマネジメントの視点を大切にしていた。

- ・町ぐるみでの協働研究による授業力向上を目指した「授業力アッププロジェクト」を組織的に展開しており、教育関係者の意欲と熱意を感じた。
- ・活発な国際交流など地域の恵まれた教育資源を活用している英語教育とともに、地元の高校と英数の連携クラスを設置している中高連携による学力向上対策については、全国的にみても先進的な取り組みだと思われる。

【唐澤千洋委員】

資料貼り付け

平成30年1月29日

箕輪町議会議長 木村英雄様

箕輪町議会議員 唐澤千洋



議会福祉文教常任委員会研修派遣結果報告書

当委員会は30年1月17日から19日にわたり次の事項について視察研修を行いました。

視察先	研修テーマ
富山県 入善町	デマンド交通について
富山県 南砺市	産後ケア事業について
福井県 越前市	学力向上対策について 安心して学べる学校づくり 図書館運営について
岐阜県 中津川市	全国還暦マラソン桃の湖大会について

報告の担当は越前町、中津川市を担当いたしました。

越前町

1、学力向上対策について

視察の目的は、全国学力テストの結果が国語A・B、算数・数学A・B共に全国平均を大きく上回る成績であったことに着目したもので、当議会でも学力テストについて関連質問が出た経緯を踏まえての視察であった。

越前町における高い成績の成果の裏にあるものは何かであります。

- ①県教育委員会から指導主事を配置させ、学力テストの結果を調査分析し、指導の在り方について研究を進めてきたことにある。
- ②知識として身に付けておくもの、活用して活かせる力を持つように指導していくことなどが揚げられた。
- ③さらに、教科ごとの今後の指導についても確立されており、個々の先生の問題でなく、学校あるいは学年共通の指導体制にある。

2、安心して学べる学校づくり

- ①パソコンルームを整備し、1人1台完備されている。スマホなどの活用についてもアンケート調査が行われており、児童生徒の現状を把握している。

専門の指導主事を配置して指導体制の強化も図っている。

②児童・生徒が教え合いながら学んでいる。遠隔システム活用は小規模校同士取り組んでいる。

③職員には全員のパソコンを配備している。

中津川市

全国還暦マラソン権の湖大会について

①当町の町内一週駅伝開会、天竜オークなど多彩のイベントがあるが地域の活性化事業として一歩足りないとしている。

②還暦という名称も、参加者最大200人という規模も満足をしているようだが、民間組織による実行委員会形式が母体である。

③経費はおよそ230万円。企業等の協賛金が56%である。

④地方創生事業としての取り上げも検討の余地はあると感じた。

視察の総括

①30年度事業化など、早急に検討の必要があるものもあり、委員会としてのまとめを進めます。